

富山縣東礪波即大田村祖家

橫井善太郎

上田芳松

東亞和漢堂乙卯本

中華人民共和國

大陽龍吟

766

禮部左寺中丞多

去阿育王紀卷之四

〃 新々 夏々 以水 〃 〃
 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

おと一のりねん

子思子卒後皆笑之

中

神
 出
 入
 息
 之
 理

子降

也
何
意
之
不
可
解
者

卷之五

猪子安胎

卷五

乃之四九

べん
ろく
ろく
ろく
ろく
ろく
ろく

何事に、右子孫を

470256

按村長丁卯

上
海
各
報
刊
載

皆々
此方
て
より
し
心
鳳

學自以承中二

謹啓 在寮中は多大
なる御高配を蒙り誠にあ
り難く厚く御礼申上候お陰
様にて一人の事故者もい
さず無事本日皆父兄の手に
引渡し候につき何卒御安

くだされたく

神被下度お願申上候出発
に際しても何かと繁忙中
を御高志にあづかり筆紙に
尽せぬ感謝にて候先は寸
楮にて安着の御報告旁御
礼迄、小生儀近く又々参上
いたして御礼乍ら参上いたす
べく候につきその際はよろしく
お願い申上候にてお願い勿々

十一月六日

大澤雅休

横井 善太郎 様

上田 芳松 様

皆々様方へもよろしく御
鶴 声お願い申上候

(注) 上田 芳松とあるが、上田 義松と間違えている。

馬山五石所
大田村祖家
立田 義松 推

東京都目黒区下目黒
三四〇一 平泉社
一月廿六日 大澤龍牛

[illegible]

上田守松 松
何處可寄之書もよき何
時ぞ下るや

拝啓 在富中は一方ならぬ御
厚志に相成り誠に有難
く御礼申上候お陰様にて楽
しく職責を果し何とも

御礼の申しようありません。又

帰京に際しては色々とお心づ

け下され有難く深く御礼申

上候僅か乍ら多少共富山縣

下に書道文化の基礎をい

たせしは嬉しき極みにて候

書道は何れの職業何れの

階級にありても必要のこと

にて候へば農閑期に御習字

下され拝見させて下され度お待

ち申居候東京地方は富山縣

と異り毎日の快晴にて殆降

雨なく飲用水にこまる程に

て候諸物価はいよいよ騰昇

して生活上には驚怖を

感じ富山が懐かしく存候又

何れ御邪魔仕るべく候へば何

卒よろしく又画箋紙等も

御用意置き下され度お願

ひ申上候先は乱筆にて御

一家皆々様の御健康を御

祈り上げ候学校長外諸

先生父兄児童よりもよろし

くとのことにて候 拝具

一月二十三日 大澤雅休

上田義松様

御近所皆々様へもよろしく御
鶴声下され度候

拝啓 田舎で遊んでやっと
東京に帰つて来ました。東京
はやはり食物で困つてゐて闇
市でも食糧品が主位を
占めてゐます 然し金が幾
分減つたか 客足は遠いやう
で 従つて値段はあまり上
昇してゐません。みかん いわ
しその他は富山よりはるかに安
價です その他の日用品も富
山より安いものもあります。然し
主要食、燃料等豊富な富
山を思うとやはり富
山が懐かしいです。子供は皆
まるゝと太つて元気で学
校に通つてゐます故御安心
下さい。学校の諸君も皆元
氣ですが 經濟的生活に
は怖えてゐます。まだ私
も硯も墨も筆も揃はず古食
卓一個で萬事まにあはせて
ゐます。野坂参三氏の歡
迎大會やら諸種の大會
が日比谷で開かれてゐます。や
つぱり東京に居れば刺戟は
多いです。出来るだけ吸収
して又御逢ひする迄には幾
分腹を肥して参ります 書
道方面も頑張つて習つて
大いに機勢をあげるつもり
です。何卒少しづゝでも古
典に親しんで鑑識力
を高めてゐて下さい。必らず
それが筆端に形象化さ
れます。「萬代不易」の古典
の研究と共に最も新銳的
な共產主義の人々の意見

等も十分御注意御研究
下さい。又よい本等も出まし
たら御送りいたしませう 御
からだ御大切に御奮闘下さ
い。御両親様御令閨様
はじめ皆様によろしく
御願ひ申します。先は乱筆
にて 敬具

大澤雅
二十八日
安念様

拝啓御手紙拝見、村政の大変革の中で元気で御敢闘詢に嬉しく存じます。一応も二応も改善されて公明で相憐吳恵の念で働ける組織にせねばならぬと思ひます。改革に当たつてはあくまでも民意輿論を容れて、しかも従来に於ける下積の有為者を引上げてやる方針をとつて、明るく生々とした村民の顔貌にして下さい。利己主義を指弾して、自由潤達に文化を摂用して、技術と文化とをもつ農民を作つて下さい。兎に角、改革期には、不屈不撓の精神の持主と頑強で無理のきく身体
の持主であらねばと思ひます故、大いに健康留意されて千載一遇の民主革命を遂行して下さい。封建富山を太田から追放して下さい。新人の登台、和協善導してやって下さい
私も中央に於て何等かの活動を成し遂げるつもりよろしく願ひします。「書道」「歌道」を通して益々緊密なる御連絡を願ひます。法帖及文房具等も多少見つかかり候へど「新円」時代で如何かと思はれます。入道様、金子様、上田様

皆々様によりしく願ひあげます。

三月五日

大澤雅休

安念様

雅叙園の湯をもらひかへ

る夜の路 ジープよけ

つつ あふぐ星そら

物高く国危ふきに議員は

ことをはからずいがみあいいる

めざむれば梢に啼きかふ小鳥多

し二階に住めば身近なる友

二階に住み人にはうとくひねもす

を屋敷木梢きぬれの小鳥に親しむ

道のべに飢えて動けぬ者をれど

ちまた衢ちまたの人はかえりみるなり